

第7回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会

2016年6月11日（土）～12日（日）

@浅草ビューホテル、台東区立浅草公会堂、台東区民会館、東京都立産業貿易センター台東館

ワークショップ 9	
企画名	大都市圏におけるプライマリ・ケア：都会に住む人々の健康をどう守るか
日時	2016年6月11日（土） 15:00～16:30
会場	第10会場（台東区民会館 8階 第3会議室）
企画責任者	松村真司（松村医院）
定員	24名
開催の目的・概要	
<p>【開催の目的】</p> <p>プライマリ・ケアの問題は、これまでへき地や医療過疎の地域における医療の文脈で語られることがこれまでは多かったのですが、東京・大阪・名古屋などを中心とした大都市圏におけるプライマリ・ケアにおいても、さまざまな問題が指摘されています。さらにわが国においては、急速な高齢化が今後は大都市周辺部を中心に起きることが予測されています。このような背景から、本学会ではこれら大都市圏におけるプライマリ・ケアに特有の課題にと取り組んでいくために、大都市圏医療委員会が設置されました。今回のワークショップは、本委員会の発足にあたり、これら大都市圏で現在直面している保健医療の課題を整理し、それらの対策を考えることを目的としています。</p>	
<p>【概要】</p> <p>本ワークショップの対象は大都市圏での医療問題に関心のある方です。実際、現在これら大都市圏でのプライマリ・ケアに従事している医療者を対象の中心にしていますが、今後大都市圏の医療に従事する予定の人たちも歓迎します。まず、大都市圏におけるプライマリ・ケアにおける特有の課題にはどのようなものがあるか、都市問題についての総論とこれまでの委員会での議論のまとめについての講義を通じて、共通認識を得たいと思います。その上で、事例を用いた小グループの討論により、現在私たちが大都市圏でプライマリ・ケアに従事する際に直面している課題を抽出します。さらにはこれらの課題を共有し、参加者の間での意見交換を通じて、今後大都市圏におけるプライマリ・ケアを改善するために優先的に取り組むべき事項にはどのようなものがあるか、そしてこれらを改善させる際に必要となる知識・技能と学会が提供できる支援策にはどのようなものか、その手がかりを得たいと考えています。</p>	